

# 高浜再稼働きよう決議

## 県議会 各派が意見集約

県議会は16日に全員協議会を開き、関西電力高浜原発3、4号機の再稼働の是非について各会派の意見を集約した。西川一誠知事が閣僚に会うため東京に欠席する中、過半数を占める自民党県政会が再稼働の必要性を強調。最終日の17日に自民党県政会が再稼働に同意する決議案を提案して可決する見通しだ。



杉本達治副知事が「知事に代わって責任を持って説明・答弁する」と述べ、高浜3、4号機に対する県原子力安全専門委員会の検証や広域避難計画への対応などについて説明した。

1人会派から順番に発

## 渋滞に懸念の声

関西電力高浜原発の重大事故時の広域避難計画を決める「福井エリア地域原子力防災協議会」が16日、東京都内で開かれた。内閣府が緊急時対応策を説明し、福井県と近隣府県の副知事らは計画を「合理的」などと了承したが、交通渋滞を懸念する声が上がった。

県で計約18万人（昨年4月時点）が住む。県内のPAZからは敦賀市と県外3市町へ避難。UPZからは敦賀市など県内4市町と県外16市町へ避難する。

福井県民は原則として自家用車で、要支援者はバスや福祉車両で避難する。県内のUPZ内でバスが必要な住民は約2300人で、バス54台は県内や関西広域連合内などで確保。半島部では船なども使う。スクリーニング（放射線量検査）の候補地はうみんぴあ

県議会の全員協議会で高浜原発3、4号機について「再稼働を判断する時期だ」と述べる自民党県政会の山岸猛夫会長。県議

特別委員会でも同意した。民主・みらいの野田富久

内閣府が示した対応策によると、即時避難が必要な半径5キロ圏（PAN）内と、屋内避難から段階的に避難へ移る半径30キロ圏（UPZ）には福井、京都両府

大飯など県内13カ所と京都府の綾部パークینگエリアなど2カ所を設定した。交通渋滞の懸念は、内閣府の森下泰・政策統括官も「避難経路も限られ、重い課題」と認めた。福井県の石塚博英副知事は報道陣の取材に「避難の実効性を高める必要性がある」と今後

も改善を進める考えを示し、「引き続き国が責任を持って対応してほしいと要望した」と話した。概要は内閣府のホームページ内の「原子力防災」(http://www8.cao.go.jp/genshiryoku\_bou sai/index.html)で閲覧できる。(小川詩織)

## 「議会軽視」批判噴出

西川一誠知事は16日、県議会全員協議会を欠席し、菅義偉官房長官と丸川珠代

環境相・内閣府特命相（原子力防災）と面談。県議会各会派から「議会軽視」

## 知事は欠席、大臣らと面談

会長は、使用済み核燃料の中間貯蔵施設の県外立地が見通せず、広域避難計画に

基づく訓練が実施されていないことなどから「再稼働はとて判断できる環境にはない」と強調した。自民党県政会の田中宏典

などと厳しい声が相次いだ。全員協議会の冒頭、仲倉典克議長は「極めて遺憾」と知事を批判。自民党県政会の山岸猛夫会長も「知事が逃げたところらでもおかしくない」、民主・みらいの野田富久会長も「審議を放棄した」と批判した。

知事は官房長官に「原子力の重要性・必要性をどう考えるか、政府の強いメッセージを示してほしい」と要請。特命相にも「温暖化対策の中で原子力をしつかり位置づけ、国民の理解が進むように」と求めた。(堀川敬部)

## 原発避難計画、地域防災協が了承

## 渋滞に懸念の声

12/17 朝日